

NO! リニア

No. 37

2011年 2月 2日

JR東海労働組合

リニア反対プロジェクト

第15回 国土交通省交通政策審議会・中央新幹線小委員会開催

パブリックコメント・中央新幹線整備反対意見・前回調査を遙かに上回る！
巨大都市への集積・環境破壊・JR東海の経営破綻・安全性などを懸念！

2月1日、国土交通省交通政策審議会・中央新幹線小委員が第15回目の会合を開催しました。今回の委員会では、①環境調査結果について、②「中間とりまとめ」に関するパブリックコメント結果報告、③東海道新幹線大規模改修工事に与える効果について議論されました。

一つ目の議事である環境調査結果については、東京～大阪間（山梨～長野間を除く）の環境面（大気、水、土地、動植物、景観、文化財など）で配慮すべき事柄に関する調査結果が報告され、今回の基本的な調査では、特に配慮すべき課題は存在しないことが報告されました。

二つ目のパブリックコメントの結果については、件数は前回並みの793件の意見が寄せられましたが、前回と大きく違う点は、反対意見が142件寄せられたことです。また、「伊那谷ルート」を選択すべきという意見が前回調査よりも圧倒的に増え167件にものぼったことです。「南アルプスルート」を選択すべきという意見は122件にとどまりました。さらに、JR東海の事業能力に関する懸念や沿線との協議の重要性、環境面への配慮など多岐にわたる意見が寄せられました。これらのことは、「中間とりまとめ」が出されたことで、前回調査よりも関心が高まった結果であり、慎重論が国民の中に広がっている結果であると考えられます。

そして三つ目の議題では、JR東海からリニア中央新幹線が具体化した場合、東海道新幹線の大規模改修工事に与える影響が少なくなるということが報告されました。しかし、一番支障のある鋼橋の取り替えなども方法によっては、橋梁区間を含んだ区間の運休が2日程度で済むことも明らかになりました。確かに直通旅客には影響があることは間違いありませんが、リニア中央新幹線が実現できなければ改修工事が大幅に遅れたり、費用がかさむということではないということが逆に証明されたこととなりました。

今後小委員会では、引き続き協議を推し進め、年度内には最終答申を公表する運びとなります。最終答申に向け各地でシンポジウムの開催も計画されています。多くの解決すべき課題が山積していることを広く社会に訴え、幅広い国民的な議論を呼びかけて行きましょう。

早期整備を望む意見83件に対して

リニア中央新幹線にNO! 142件!